

# やまゆり

## 経営方針

- 1 利用者の人権の尊重を基本とし、利用者が安心・安全で健康に生活できるよう利用者個々に応じた質の高いサービスの提供に努めます。
- 2 関係機関や他事業所と連携・協働し、地域の障がい者等のニーズの把握に努め、多様な福祉サービスの機会が得られるよう、地域福祉の向上に努めます。
- 3 職員個々が強い責任感を持ち、福祉サービスに関する専門性の向上を図るため、目標管理制度、教育研修制度等に基づき人材育成に努めます。
- 4 法令や諸規則を遵守し、信頼される組織体制を構築するとともに、財務状況の把握や職員の経営意識の醸成により、経営基盤の安定を図ります。

## ■ やまゆり

[障害者支援施設（施設入所支援、生活介護、短期入所）、日中一時支援事業]

## 取り巻く環境

やまゆりでは、高齢化により身体機能の低下や疾患が進み、日常生活に係る身体介護や健康管理・通院付添い等の多様な支援が必要です。転倒・転落、誤嚥等の事故に対する危機意識を高めると共に、利用者一人ひとりの心身状態を把握し、変化を見逃さないよう、より専門的な知識習得や支援スキルの向上を図ることが必要です。また、新型コロナウイルス感染症を含めた感染症については予防及びまん延防止に引き続き取り組む必要があります。外出やボランティアの受け入れ等の制限が多い中であっても、感染予防に努めながら日常生活の充実にも努めていく必要があります。

施設設備老朽化に伴い、計画的な修繕が必要であるほか、高齢化に対応した介護機器等の導入を検討しながら安心・安全なサービスを提供していく必要があります。

さらに、地域に開かれた施設とするため、地域ニーズに即したサービス提供が求められており、中山の園グループとの連携による地域福祉の推進が必要です。

## 事業の重点項目

### 1 人権尊重と虐待防止の意識の徹底

人権尊重や虐待防止について、毎月の人権侵害自己チェックや毎週の利用者支援の振り返りの話し合いを通して職員の意識の徹底を図ります。身体拘束について、利用者の人権を尊重したサービス提供に一層取り組む必要があることから、利用者個々に応じた支援を検討すると共に状況の把握や拘束解除に向けて検討します。

## 2 安心・安全なサービスの提供

身体介護や健康状態の把握の必要性の高い利用者や精神疾患を有する利用者等、個別の状況に応じ対応できるよう各種研修会へ参加し支援スキルの向上を図ります。また、介護福祉機器について情報収集を行い、導入に向けて検討します。

転倒・転落アセスメント等により、利用者個々のリスクを把握し支援方法を構築する等、安心・安全なサービス提供に努めます。

新型コロナウイルス等の感染症については、健康観察を行い医療との連携を図り、予防及びまん延防止に努めます。

## 3 地域社会との連携・協働

地元の中学生を対象としたボランティア育成事業を継続し、障がい者理解や福祉教育の推進を図ります。入浴体験事業について関係機関等に改めて周知を図り新型コロナウイルス等の感染症の発生状況を確認しながら在宅障がい者のニーズに応じた地域に根ざした地域公益活動を推進していきます。

「利用を断らない」を意識し職員の支援レベルを高め、相談支援事業所等と連携して地域生活を維持できなくなった方の受け皿として、セーフティネットの役割を果たします。

## 4 働きがいのある職場づくり

職員間の相互理解を深めるため「報・連・相」の徹底や日常的なコミュニケーションを確保するとともに、職員間の協力体制やお互いに尊重しあえる働きがいのある職場づくりを目指します。

また、業務の効率化、時間外労働の縮減や年5日以上の有給休暇の取得を進めます。

## 5 経営の安定・強化

継続して安定した経営を図るため、関係市町村や相談支援事業所等と連携し施設利用の定員充足を目指すとともに、短期入所利用等を積極的に受け入れます。

また、法令、報酬の仕組みや個別支援計画等について、研修の機会を確保すると共に、施設の収支状況を把握しコスト削減や見直しを行い、適切な予算執行や経費の節減に取り組み経営意識の醸成に努めます。

## 6 コンプライアンスの徹底

「コンプライアンス基本方針・行動指針」の内容をよく理解するため、「コンプライアンスの日」を設定する共に、コンプライアンス自己チェックや、研修を通して意識の醸成を図ります。